

仙北組合 総合病院 だより

発行月日 平成20年10月10日
発行責任者 後藤伸一

No.3

基本理念

私たちは、安全で質の高い
患者様本位の医療を提供し
信頼される病院を目指します

基本方針

1. 常に医療の質の向上と安全な医療の推進に努め広く医療従事者の育成を行います。
2. 患者様の権利と意思を尊重し、十分な説明と同意に基づく医療を提供します。
3. 地域の医療・保健・福祉施設と緊密に連携し地域医療の充実に努めます。



ご挨拶

仙北組合総合病院

診療部長(産婦人科) 九嶋 理

院長、副院長と続いて、もう私の順番になってしまいました。早いもので、私がこの仙北組合総合病院に勤務して26年たち、今では医者の中で最古参になってしまいました。産婦人科という場で、特に女性の患者さん相手に、先日の病院だよりで大石副院長が書いておられた「人間関係」をいかにいい状態で保っていくのが難しいか、日々痛感しています。特に、産科は「出生」というおめでたい科、一般の人にとっては、無事に何事も無く生まれ、何事も無く退院して当然なのに、何かハプニングがあれば、「なにかミスがあったのか」と、言われかねません。福島の大野病院の産婦人科医師の逮捕事件も記憶に新しいところです。普段の何も無い時からの患者さんとのいい信頼関係を築いておくこと、患者さんには病状・診察結果・今後の見通しなどを、詳しく知りたい人には詳しく、わけのわからない人（理解いただけない方）にもそれなりにきちんとお話し、最後には「今のお話でわかりにくいところ、あったですか？」

と付けたし、補足説明します。診察の際も、産婦人科という恥ずかしい場所の診察なので、カーテン越しなので「沈黙の時間」をなるべく無くし（患者さんにとって、『何されてるんだろう』という不安が起きる）、スタッフ同士の私語・失笑は厳禁、「次、〇〇しますよ。」と予告しながら診察を進めます。ただ、診察の所見は、隣の患者さんに聞こえるとプライバシーの問題があるので、診察台を降りてから、机にもどって対面でお話をするように心がけています。でも、忙しいと、診察台で「診察してこの前と変わりなかったです。」と隣に聞かれてもいいような言葉を選んでしゃべってしまうこともあります。気を使って大変な面もありますが、患者さんの笑顔で救われることも多くあります。産婦人科に限らず、他科のお医者さんも労働条件が厳しくなって来ているこの頃です。体力・気力・知力が続く限り、頑張りますのでよろしくお願ひいたします。

患者様の権利

患者様の立場にたった医療を提供するため、以下の権利を尊重します。

1. 人格を尊重されて、丁寧で思いやりのある医療を受ける権利
2. 良質で安全な医療を公平に受ける権利
3. 医療の情報や説明を理解した上で、治療方針を自己決定できる権利
4. 診察に関する情報などのプライバシーを保護される権利
5. セカンドオピニオン（別の医師の意見）を求める権利

JA秋田厚生連
仙北組合総合病院

秋田県大仙市大曲通町1番30号
TEL 0187-63-2111
FAX 0187-63-5406

ホームページ

URL <http://www.senbokukumiai-hp.gr.jp/>
E-mail senbokuk@crocus.ocn.ne.jp

職場紹介

こんにちは。
医療相談室
です。



こんにちは。
リハビリテーション科
です。

こんにちは！仙北組合総合病院リハビリテーション科です。「リハビリ」という言葉はニュース、新聞等でもよく耳にしますが、実際はどのような仕事をしているかといいますと、リハビリテーションは次の3つに大別されます。

- ・理学療法：人間の基本的な動作（寝返る・起き上がる・座る・立ち上がる・歩く等）の練習や運動阻害因子を取り除く治療をします。
- ・作業療法：人間の応用的な動作（日常生活動作・手を使う動作・書字・家事等）の指導および準備的練習を行います。
- ・言語聴覚療法：ことばの障害に対する練習や食べ物を飲み込む機能に対する準備的治療を行います。

脳血管疾患や整形外科、呼吸器疾患のほかに長期安静により体力の落ちた患者様に対しても治療を行っています。リハビリセンターで主に治療していますが、個々の患者様に応じてお部屋に伺っています。少しでも患者様の希望・目標に添えるようにスタッフ18名一生懸命がんばっております。どうぞよろしく申し上げます。



当室としては、病気になると健康なときには考えられなかったような様々な問題や悩み事が起きてきます。そうした問題の解決をお手伝いするために、医療ソーシャルワーカー、介護支援専門員が患者さんや家族の悩みなどの負担を少なくし、必要に応じて、関係機関と連絡をとりながら、安心して医療できるように相談を受けています。

イ) 医療相談室

社会的、生活的問題の解決に向け、面接を通し個別的な援助を行います。入院、外来を問わず、生活と傷病の状況から生ずる心理的・社会的な問題などを早期に解決するために、福祉制度など社会資源の利用の相談に応じております。

また、保健、医療、福祉機関などと連携をしながら、必要な調整をします。

ロ) がん相談支援センター

地域診療連携拠点病院の指定に伴い、同センターの開設が必須になりました。活動内容は、がん患者やその家族が抱える診療上の疑問・セカンドオピニオンや不安、経済的・心理的・社会的問題の解決と支援を図るための相談窓口です。

ハ) 居宅介護支援事業所

居宅での介護を支援するために在宅介護に関する相談援助・介護保険のサービスを利用される場合に適切なサービスの利用ができるように、本人、家族の介護状況をお伺いし、必要なサービス計画(ケアプラン)を作成します。

その他、お困りのことやお悩みのご相談に対応させていただいております。

ドックのご案内

●日帰りドック

検査日：毎週月曜日～金曜日
午前7時40分～午前11時頃
(多少時間が前後します。)

料金：35,700円
・下記項目追加の場合
子宮がん検診3,150円 } 加算となります。
乳がん検診 3,150円 }

●一泊二日ドック

検査日：毎週月～火曜日、木～金曜日
午前7時40分～
翌日午前11時30分頃
(多少時間が前後します。)

料金：65,100円(女性の場合、子宮がん検診が含まれます。)
乳がん検診追加の場合3,150円加算となります。

ボランティア募集

身体の不自由な方やお年寄りや車を乗り降りする際の手助けや、車椅子や受付の補助をしてくださるボランティアの方を募集しております。週1日からで結構ですので、是非お願いします。

お問い合わせは総務課へ。電話またはEメールで。

地域緩和ケアフォーラム



小野地院長あいさつ



ためになるお話がいっぱい宮原先生



熱心さから少し時間オーバーのディスカッション



地域の方からの貴重なご発言



6月21日(土)：大曲広域交流センターで、当病院主催による「地域緩和ケアフォーラム」が医師会・薬剤師会・行政・ケアマネージャー協議会・緩和ケア研究会などの後援・ご協力のもと、約200名の参加で行なわれた。

冒頭、小野地院長より「今までは病院で医療が完結する事を中心に取り組んできたが、全てのがんを治す事は残念ながら不可能である。例えそうであっても安心して地域で過ごせるよう、これからは開業の先生方や、施設、介護職、ご家族、皆で支えなければならない時代」と挨拶があり、第1部は長年・地域医療活動をして来られた宮原伸二先生(現：神戸親和女子大学教授、複合のNPO施設を立ち上げ運営)をお招きしての基調講演、テーマは「その人らしく最期まで生きる」その考え方と心温まる事例が紹介された。第2部は、外旭川病院ホスピス長の嘉藤先生を座長に、地域緩和ケアに携わる地域医師、訪問看護ステーション、ケアマネージャー、また癌の父親を在宅で看取られた市民の方をパネリストに、活動やそれぞれの想いを発表、会場の皆さんを交えてのディスカッションを行なった。多くの医療・介護に携わる方々の参加と共に、一般の方々も参加率は30%であり、関心の高さを伺わせた。

このフォーラムが地域での『医療・介護・福祉連携』が少しでも整い、ここに住む人々の「生と死をまらごと」支えられる、気風のある街づくりへの大きな一歩になればと強く願うものである。今後も多方面からの活動を継続していきたい。

がんになっても安心な地域をめざして



一日看護学生

毎年恒例の「一日看護学生」が7月29日（火）、当院を会場に開催された。今回は夏休み期間の中学生29名が白衣に着替えて参加し、看護師の職業体験を行なった。

実習では、最初に小野地院長が「今から職業を決めることは大変だが、今日の体験が皆さんの将来の夢に役に立てばと思う。」と挨拶し、主催者である秋田県看護協会大仙・仙北地区支部長の大山京子さんからは「中学生の今から看護師になるという目標をもって努力してほしい」と激励を受けた。

その後、伊藤ゆう子看護部長から「看護への道」と題し看護師の資格を取得するまでの進路についての講演があり、2名の先輩看護師からは看護の体験談についての発表があった。

午後からは、グループに分かれて病棟の患者さんの足浴などの看護体験実習を行ない、



部長講演



看護体験学習（足浴）

患者さんから「ありがとう」「看護師になってね」と声をかけられ感激する姿が見られた。

参加者の大曲西中学校の矢野美涼さんは「看護師という仕事に憧れていた、今日実際に病院の見学や体験を行ない、益々看護師になりたいと思った」また大曲南中学校の佐藤真未さんは「小学校の時入院したことがあり、その時の看護師さんがすてきだった。自分もそういう仕事がしたい。」と抱負を語っていた。

今回の体験を通し看護師の仕事を知り、将来地域の医療機関で看護師となって働こうと希望することにつながればと願う一日となった。



看護体験学習 ～ベビーとのふれあい～



施設見学（訪問ステーション 管理者より）

病院祭



横堀小学生による器楽演奏

地域ふれあい活動の推進を目的として「第6回病院祭」が9月7日(日)、当院の玄関ホールを主会場に開催された。当日はあいにくの雨天にもかかわらず、入院患者さんや地域住民の方、職員・家族など約600名が見学に訪れた。午前の部では、大曲小の和太鼓演奏、横堀小の器楽演奏、西仙北東中の吹奏楽演奏、午後の部では、大曲高校の合唱、太田町あかまつコーラスの合唱、秋田民謡五星会の民謡ショーと多くの地域住民の協力により行なわれた。特に、大曲小による和太鼓演奏と横堀小による器楽の演奏には小学生とは思えない腕前に観客から大きな拍手を浴びていた。

職員企画としては、看護部による血圧・骨密度測定と手洗い指導や薬剤科による薬の相談、今年初めての企画として検査科による頸動脈エコーなども行われ順番待ちができる程賑わっていた。また、「子供の遊び場コーナー」では、風船のプレゼントの他、ヨーヨーすくいやポップコーンのサービス、「抹茶コーナー」では職員と大曲高校生による本格的な抹茶の提供、昨年に続けての「バザー」では販売開始前から並ぶ姿も見られ、販売開始と同時に完売するという盛況であった。

その他玄関前では、JA秋田おばこの女性部が採れたての農産物を販売し、大曲農業高校生は自分たちで加工した特産物を安い値段で販売して病院祭を盛り上げていた。病院祭を見学に来た大仙市の岡田昌助さんは「孫の吹奏楽の演奏を見に来た。血圧測定など様々な企画があつてたいへん楽しかった来年も是非見学にきたい。」と感想を語っていた。



特産物を販売した大曲農業高校生



看護師による血圧・骨密度測定



職員が入れた抹茶を提供する大曲高校生





運動器不安定症とは？

「高齢化により、バランス能力および移動歩行能力の低下が生じることで、家に閉じこもってしまい、転倒リスクが高まった状態」を運動器不安定症といいます。「運動器」とは骨や筋肉、神経など、脳からの命令で身体を動かす器管の総称です。世界保健機構 (WHO) が、2000 年からの 10 年を「運動器の 10 年」と定め、運動器の病気の制圧を目指し、新たに 2006 年に「運動器不安定症」という病名を作り、治療や予防を呼びかけています。運動器は主に整形外科が扱う分野です。

A. 運動機能低下をきたす疾患

- ・脊椎圧迫骨折および各種脊柱変形 (亀背、高度腰椎後弯・側弯)
- ・下肢骨折 (大腿骨頸部骨折など)
- ・骨粗しょう症
- ・変形性関節症 (股関節、膝関節など)
- ・腰部脊柱管狭窄症
- ・脊髄障害 (頸部脊髄症、脊髄損傷など)
- ・神経・筋疾患
- ・関節リウマチおよび各種関節炎
- ・下肢切断
- ・長期臥床後の運動器廃用
- ・高頻度転倒者

<4> 要介護 1,2

「要介護 1」

立ち上がりや歩行が不安定
排泄や入浴などに部分的介助が必要

「要介護 2」

立ち上がりや歩行などが自力では困難
排泄・入浴などに一部または全介助が必要

(2) 「運動機能」に関して以下のいずれかに当てはまる

<1> 開眼片足立ちテスト時間が 15 秒未満

<2> 3m 立ち歩きテスト時間が 11 秒以上

以上、「A. 運動機能低下をきたす疾患」のどれかに当てはまり、なおかつ、「B. 機能評価基準」の(1)もしくは(2)の中のどれか 1 つに当てはまる患者様は「運動器不安定症」と診断されます。

B. 機能評価基準

(1) 「日常生活自立度」に関して以下のいずれかに当てはまる

<1> ランク J

何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出できる

<2> ランク A

屋内での生活は概ね自立しているが介助なしに外出できない

<3> 要支援 1,2

日常生活の一部に介護が必要だが、介護サービスを適切に利用すれば、心身の機能の維持・改善が見込める

「A. 運動機能低下をきたす疾患」の中には残念ながら完全にはなならない疾患がたくさんあります。しかし、薬物療法、手術療法、運動療法などを組み合わせて現時点よりも何割かは改善させることができる疾患もあります。最近、運動療法は運動器リハビリテーションと呼ばれるようになり、「運動器不安定症」の有用な治療方法となっています。

診療案内

《祝祭日と第 2・第 4 土曜日は全科休診です》

外来診察医一覧

診療科	月	火	水	木	金	土
内科	山口・仁村	茂木	仁村・齋藤 PM進藤	山口・茂木	仁村・山中	仁村
内科(専門外来)	—	糖尿病外来 森井	—	腎外来 小松田	—	—
循環器科	加藤・佐々木	荒川・後藤	佐々木・加藤 心臓血管外科第1・3・5	加藤・後藤	佐々木・荒川	当番医師
消化器科	五十嵐・伊藤	高平・沖口	五十嵐・伊藤	白坂・高平	五十嵐・伊藤 中島	当番医師
神経内科	—	—	—	—	菅原	—
小児科	五十嵐	小山	五十嵐 心臓外来(秋田大学)	矢野・小山	五十嵐	小山
外科	小野	小野地・矢崎	平賀	小野地	工藤	当番医師
呼吸器外科	中川 13:30~	—	—	中川 13:30~	—	—
泌尿器科	下田・岡根	下田・岡根	下田・神田	下田・神田	岡根・神田	岡根・神田
産婦人科	九嶋・田中	九嶋	九嶋・田中	九嶋・田中	九嶋・田中	当番医師
耳鼻咽喉科	垂石・辻	横溝・垂石	横溝・辻	垂石・辻	横溝・辻	当番医師
整形外科	梅原・後藤・中村	佐藤・桑原	梅原・佐藤・後藤	桑原・後藤	梅原・佐藤	当番医師
皮膚科	伊奈・秋田大学	秋田大学	伊奈・秋田大学	矢崎	伊奈・矢崎	—
脳神経外科	大石	大石	佐々木	大石	大石	田村
麻酔科	—	秋山	—	—	秋山	—
放射線科	黒川	黒川	黒川	黒川	黒川	黒川
歯科	鈴木・和田	鈴木・和田	鈴木・和田	鈴木・和田	鈴木・和田	鈴木・和田

平成 20 年 10 月 1 日現在 ※医師の異動等により変更あり。